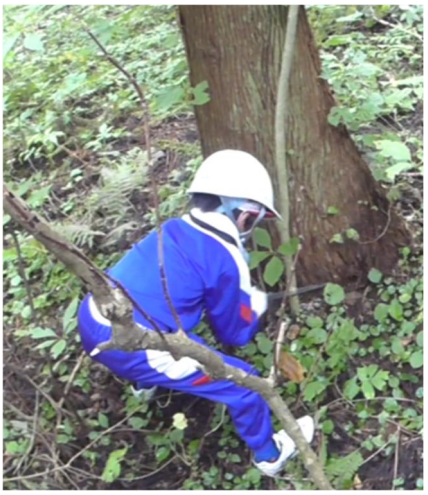
「楽しかった！」の声多数！修道小学校森林体験学習

令和７年９月 17 日（水）、深浦町小童子国有林内にて修道小学校３・4 年生の森林体験学習を行いました。雨が 90％の予報でしたが、子どもたちのパワーで晴れ間も見え、雨の心配もなく、無事に開催されました。

学習を始める前に、職員から「ウルシ」に触れないように注意喚起があり、また、爆竹を鳴らしクマよけ対策をしたほか、クマ撃退スプレー、ハチ駆除スプレー、虫よけスプレーなどを職員が装備し、安全に配慮したうえで体験学習を開始！

はじめに、イタヤカエデ、クロマツ、オニグルミなどを含む、８つの植物探しを行いました。葉っぱの形や、木の実の大きさに驚きながら、五感を使って自然を楽しんでいました。

子どもたちは、「クロマツとカラマツの違いが分かった」、「サルナシを見つけるのが難しかったけど、おいしそうだった！」や「ミズナラの実が今年はなっていなかったので、来年は実がなっているといいな」など、様々な発見があったようでした。



その後は、「除伐体験」を実施。自分の背丈よりも高い木々を、ノコギリを使って腰と手に力を込め、一生懸命取り組む姿は、とても逞しく見えました。

子どもたちからは、作業しながら「職業として林業という選択肢もあるなあ」という声もあがり、作業後の感想では「太い木を伐るときは二人で協力する必要があった」、「単純そうな作業に見えたが、実際にやってみると大変で、仕事で木を伐る人たちが頼もしいと感じた」など、作業の大変さと楽しさを実感できたようでした。

こうして無事に森林体験学習が終了しました。最近は、人里へのクマの出没などもあり、外遊びが危険視されがちな世の中ですが、今回のように自然に触れ、林業の魅力にも気づけた体験は、貴重なものになったのではないでしょうか。今後も、こうした体験の場を継続的に提供できるよう、職員側も頑張っていきたいと思います。

津軽森林管理署　業務グループ　伊藤　春菜